



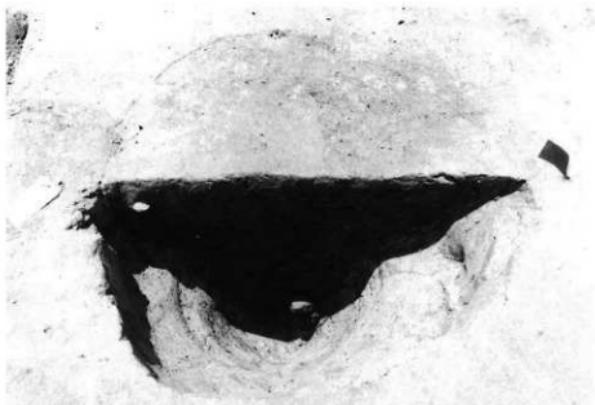
9区SK07(北から)



9区SK09(北西から)



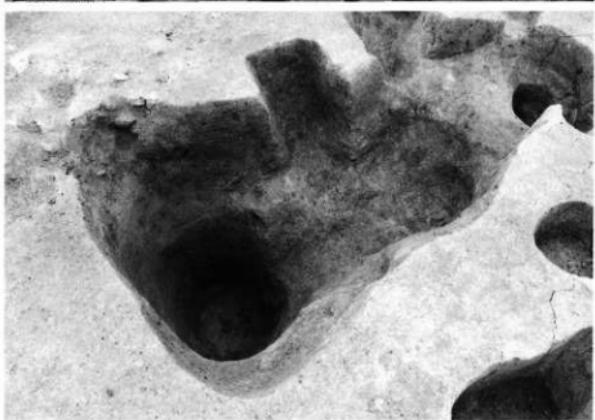
9区SK14(南西から)



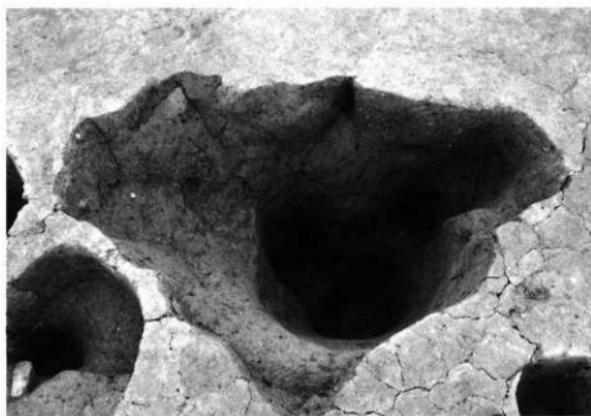
9区SK17(北から)



9区SB02(南から)



9区SK33(東から)



9区SK42(南から)



9区SK54(北から)



9区SK01遺物出土状況
(北から)



9区SK13(南東から)



9区SX01(南西から)



9区SX02(東から)



9区SX04土層断面(東から)



9区SX04(東から)



9区SD01(東から)



219-2



219-2

9区SK01出土遺物



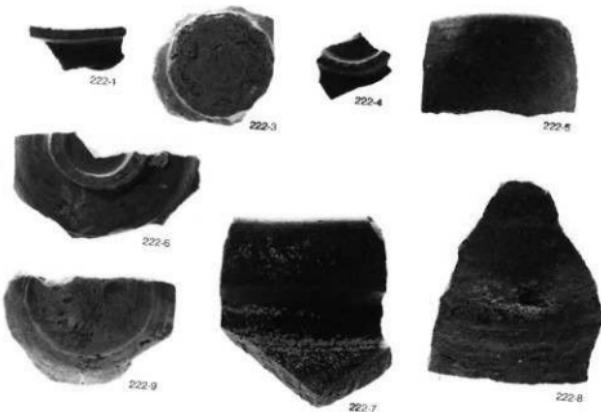
222-2



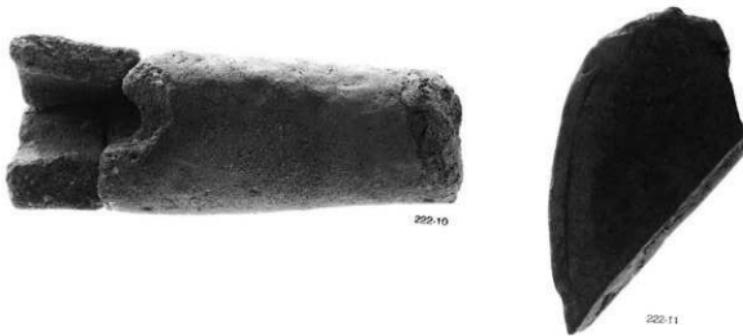
222-2

9区出土遺物(1)

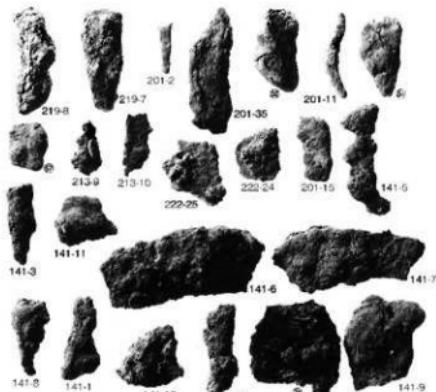
図版183



9区出土遺物(2)



9区出土遺物(3)



原田遺跡出土鉄製品



原田遺跡出土鉄製品



原田遺跡出土鉄製品

図版185



原田遺跡出土鉄製品



原田遺跡出土銅製品



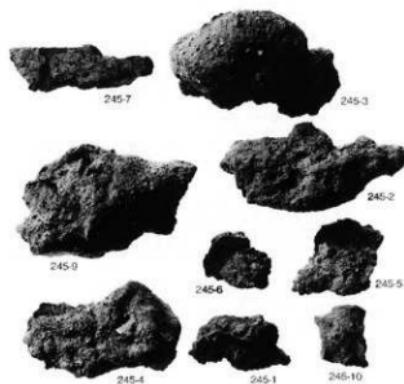
8区出土古銭



B区出土古銭



9区出土銅製品



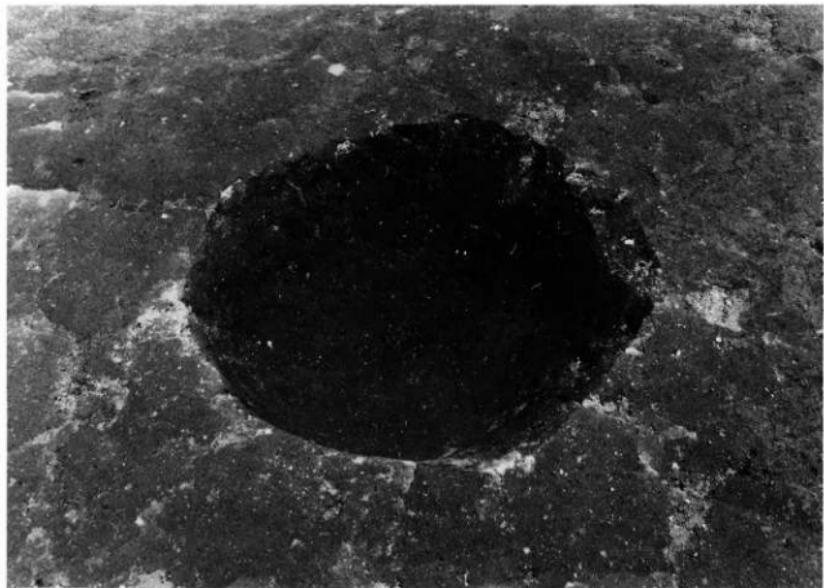
原田古墳出土鉄製品追加



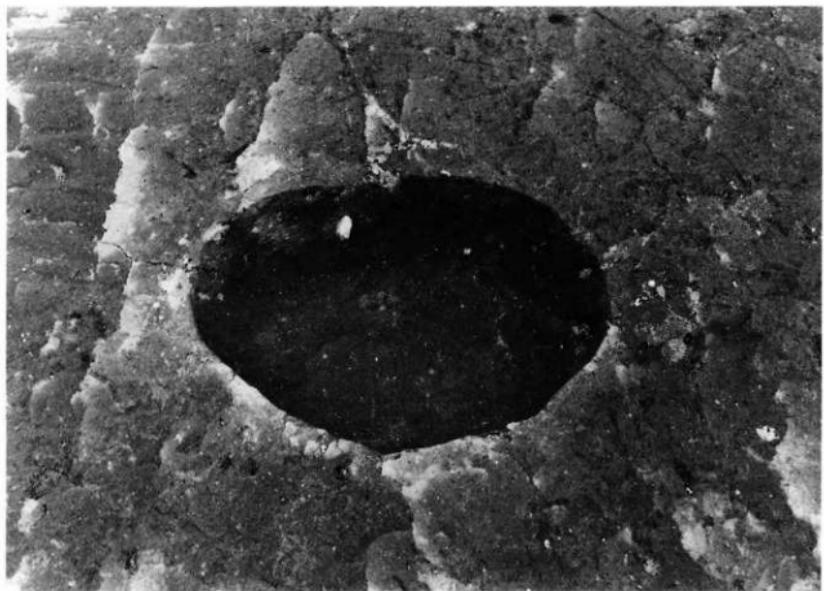
2区北側調査区 SK29 完掘状況(東から)



2区北側調査区 SK30 完掘状況(東から)



2区北側調査区 SK19 完掘状況(南から)



2区北側調査区 SK20 完掘状況(南から)



2区北側調査区 1号炉完掘状況(東から)



2区北側調査区 SX07 完掘状況(東から)



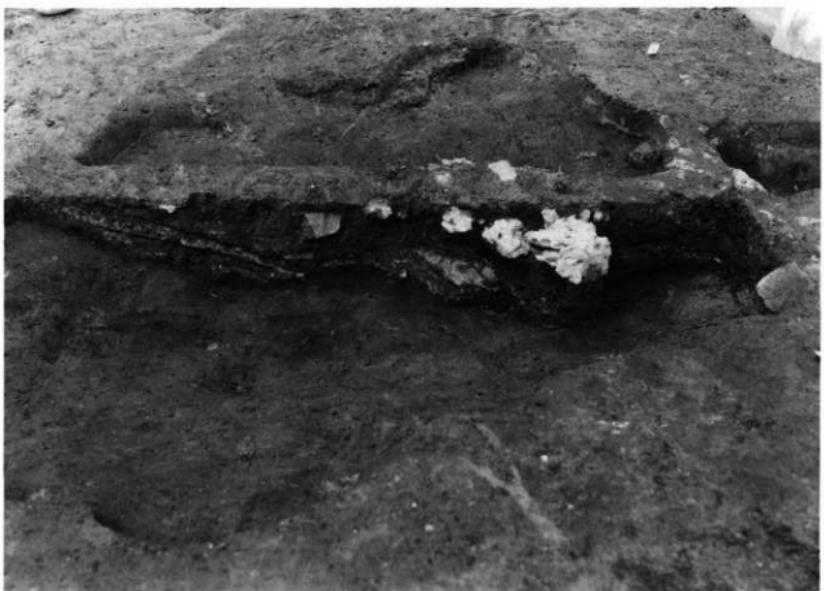
2区北側調査区 SD01 完掘状況(東から)



2区北側調査区 1号炉・SD01付近(東から)



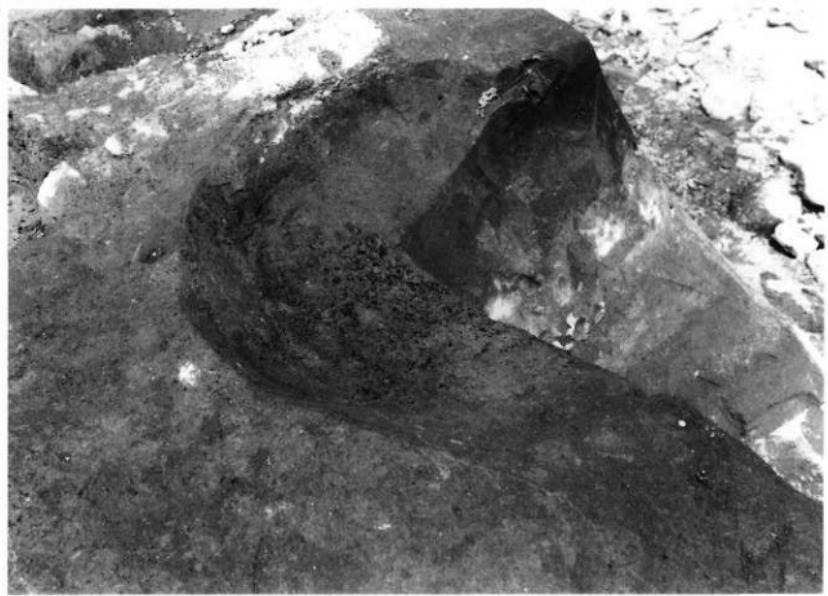
2区南側調査区 2号炉・3号炉 検出状況(西から)



2区南側調査区 2号炉 土層断面(東から)



2区南側調査区 2号炉・3号炉完掘状況(南から)



2区南側調査区 SX11 完掘状況(南から)

表



裏



19 (HAR-1) 24 (HAR-2) 30 (HAR-3)

表



裏



43 (HAR-4) 37 (HAR-5) 69 (HAR-7)

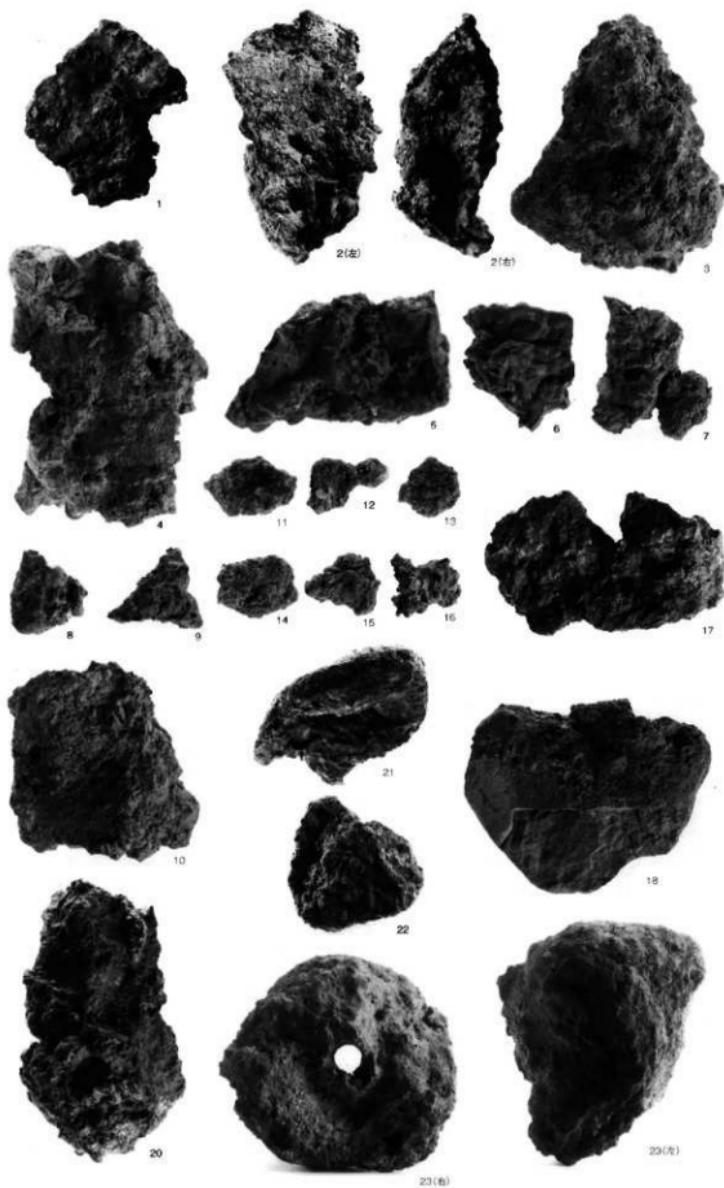
表



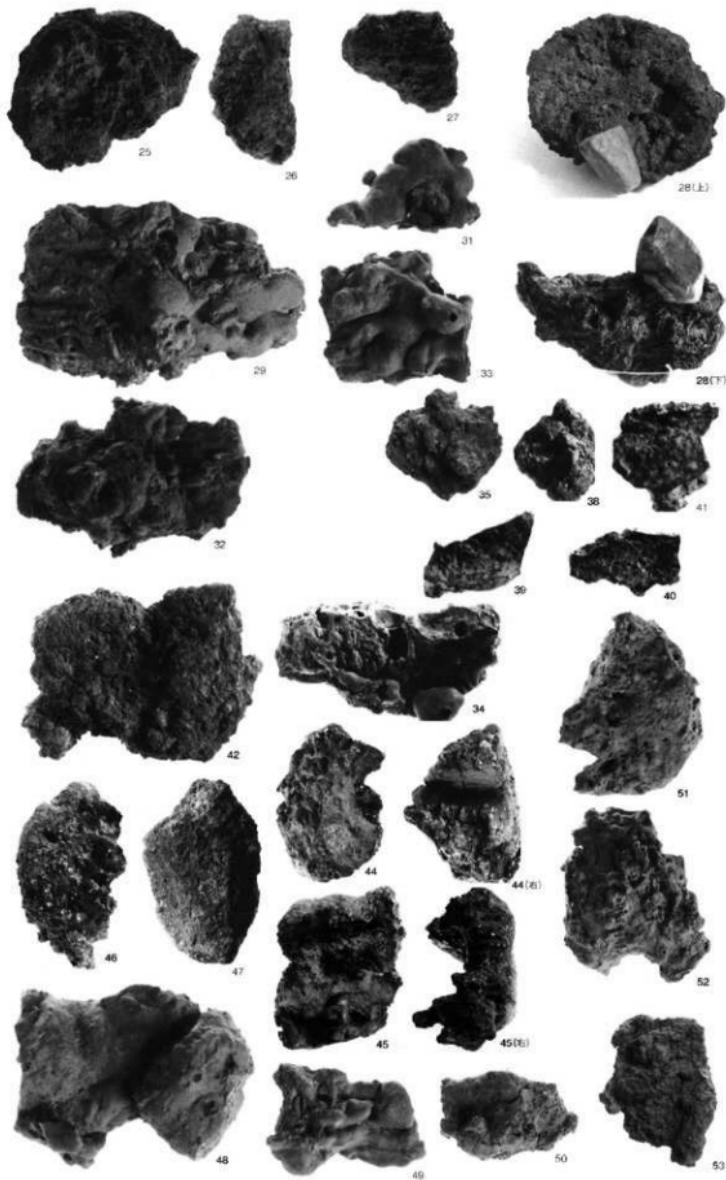
裏



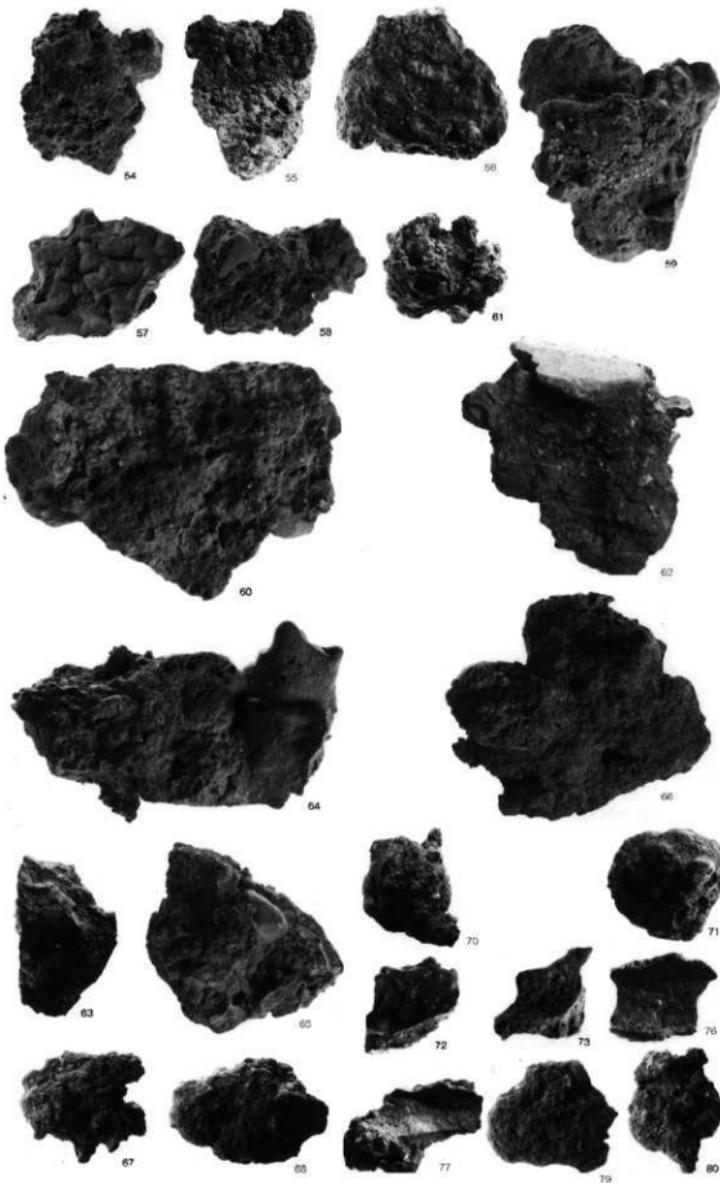
36 (HAR-6) 78 (HAR-8) 74 (HAR-9) 75 (HAR-10)



2区鉄関連遺物(1)



2区鉄関連遺物 (2)



2区鉄関連遺物(3)

報告書抄録

ふりがな	はらだいせき							
書名	原田遺跡(4)							
調査名	縄文時代以降の調査							
巻次	第2分冊							
シリーズ名	尾原ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	12							
編著者名	久保田一郎, 伊藤徳広, 稲田駿介, 石橋裕子, 下岡順直, 長友恒人, 小畠直也, 早川勉, 柴崎晶子							
編集機関	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター http://www.pref.shimane.jp/section/maibun/							
所在地	〒690-0131 島根県松江市打出町33番地 TEL 0852-36-8608(代) Email:maibun@pref.shimane.lg.jp							
発行年月日	2008(平成20)年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯※	東経※	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
はらだ 原山	島根県 仁多郡 奥出雲町 佐古 島根県 仁多郡 奥出雲町 佐古	32343	N-135	36° 50' 29"	131° 35' 10"	20040415 ～ 20041215 20050418 ～ 20051222 20060417 ～ 20061206 20070418 ～ 20070622	18,200 m ²	ダム建設
種別	主な時代	主な遺構			主な遺物	特記事項		
集落	縄文時代	配石墓(配石遺構), 土器窪まり, 土坑多数, 落とし穴, 旧河道			縄文土器 弥生土器 十脚器 須恵器 中世土師器 中世須恵器 陶器器 金属器 土製品 石製品	・古墳時代の土器窪まり りは、原田古墳とほぼ 同時期。 ・鍛冶場は板厚型羽口 を伴う。		
	古墳時代	堅穴建物, 上器窪まり						
	中世以降	製鍊鍛冶炉, 据立柱建物, 土坑墓						
要約	本書は平成16～19年度に実施した原田遺跡5～7区の調査成果を報告したものである。遺跡は斐伊川右岸、標高約194mの河岸段丘上に位置し、旧石器時代から中世にわたって営まれた複合遺跡である。そのうち本分冊は、縄文時代以降の調査について報告している。なお、旧石器時代については第1分冊にて記述している。縄文時代では土坑を伴う配石墓、上器窪まり、土坑の他、落とし穴が見つかり集落の様相を知る上で貴重な発見となった。古墳時代では堅穴建物の他、土器窪まり土坑が確認され、集落の様相を知る上で重要な発見となった。中世は、製鍊鍛冶炉や据立柱建物、土坑を検出した。							

※緯度、経度は日本測地系による

原田遺跡(4)

第2分冊

-縄文時代以降の調査-

尾原ダム建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書12

発行 2008(平成20)年3月

発行者 国土交通省中国地方整備局
島根県教育委員会

編集 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
〒690-0131 島根県松江市打出町33番地

電話 0852-36-8608㈹
<http://www.pref.shimane.lg.jp/maizoubunkazai/>

印刷 有限会社 高浜印刷